

いがっこ 給食センター夢だより

～みえ地物一番給食の日～特別号

11月20日の給食は、「みえ地物一番給食の日」
の献立です！



三重県では、毎月第3土曜日と日曜日を「みえ地物一番の日」に設定しています。学校給食ではそれと関連付けてその前後を「みえ地物一番給食の日」と設定し、取り組みを進めています。特に6月と11月は強化月間となっています。

メニュー：伊賀牛丼・牛乳・ひのな漬け・あおさのみそ汁・すなみ柿

【伊賀牛丼】



・米（伊賀産）

…伊賀市の学校給食では、伊賀市から補助金をいただき、「伊賀まい米コシヒカリ」を使用しています。

・牛肉（伊賀産）…伊賀牛は、松阪牛と並んで、三重ブランドにも認定されています。



・糸こんにゃく（伊賀市内工場）
・ねぎ（三重産）

【ひのな漬け】



・ひのな（伊賀産）…ひのなはもともとは滋賀県の日野町が発祥の地とされています。そのため、この名前がつけられたカブラの一種です。現在は滋賀県の他に、三重県や京都府などでも栽培されており、ここ伊賀地方の名産にもなっています。

【あおさのみそ汁】・あおさ（三重産）



・大根（三重産）

…あおさは、「ヒトエグサ」のことを方言で表した言葉です。全国で生産されているものの6割以上が三重県産です。昨年の伊勢志摩サミットが開催された際、各国の首相等に提供された「鮑のポワレ あおさ香る鮑のソース」にあおさが使われたことも記憶にあるのではないでしょうか。

【すなみ柿】



・柿（伊賀産）

…すなみ柿は、甘柿の王様「富有柿」から作られた品種です。伊賀地域では、栽培されてはいるものの、生産量が少ないため市販はあまりされていません。しかしこの日、いがっこ給食センター夢には、友田・法花・予野・古山地区で栽培された柿が、630個ほど届きます。一人1/4こずつになるよう、調理員さんがすべて手剥き、裁断をします。

地元の味を知り、地元のものを地元でいただき、地域の活性につなげていきましょう！！！